

腔式子宮全摘術を受けられる方へ

患者ID: 病棟: 主治医: 担当医:

氏名: 受持看護師:

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	手術の受け入れができています。 手術前の検査が済んでいる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術の説明が分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。			体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		傷から出血がない。 病棟内歩行ができる。		退院後の生活の注意点、外来受診の必要性もわかる。 傷から出血がない。
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	(主治医より) 手術について説明します。 (麻酔医より) 麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出ください。 	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。 					(看護師より) 退院後の生活について説明します。 (主治医より) 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	 適時	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時1,2,3,6.時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎(指示有り)	4回	4回	2回	1回	1回	
排泄	15時から尿量測定を始めます。	尿量測定を続けてください。	尿量測定を続けてください。	手術中、尿道カテーテルを入れます。	動けるようであれば尿道カテーテルを抜きます。病棟内トイレまで歩けます。尿量測定は続けていきます。		尿量測定は15時で終了です。			
処置		陰毛のカットをします。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝から点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に痛み止めのチューブが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血、採尿があります。 朝、酸素の投与を中止します。 動けるようになったら弾力ハイソックスを脱ぎます。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。	痛み止めがなくなれば、背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。	採血、採尿があります。 		(術後6日目) 採血、採尿があります。 医師の診察があります。	
準備	必要物品を購入してください。 T字帯1枚・ナプキン 看護師がお預かりします。	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら弾力ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。					何でもご相談ください 		
投薬	内服している薬は続けて服用してください。手術のため内服薬をお預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出ください。 	麻酔科医の指示で、手術前に安定剤の内服のある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。 	10時より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。体の向きも変えても構いませんが、難しい時は看護師が介助します。	最初の行動は看護師がそばで見守ります。 病棟内トイレまで歩けます。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。 			
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。 	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いてお下を洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。 	シャワー浴開始です。			

2021年07月 第3版 (状態により多少前後することがあります)

印刷日:
印刷者: